

事業継続した場合の財政総額比較

収益的収支

款 項	目	将来設定条件	Case1 R3~R40	Case2 R3~R40
水道事業収益				
営業収益				料金単価の差
	給水収益、その他の営業収益、口径別納付金			
営業外収益				工事量の差による長期前受金 戻入額の差
	受取利息、受託工事収益、雑収益、下水道事務受託収益、 他会計補助金、長期前受金戻入、他会計繰入金			
特別収益				
	固定資産売却収益			
水道事業費用			削除	削除
営業費用				
① 受水費				Case2は遠賀町分の用水受水費
② 原水及び浄水費				Case2は遠賀町分を用水受水し 施設減に伴う減額
	人件費、動力費、薬品費、修繕費、委託費、その他			
配水及び給水費				
	人件費、動力費、薬品費、修繕費、委託費、その他			
漏水防止対策費				
	人件費、動力費、薬品費、修繕費、委託費、その他			
営業費				
	人件費、修繕費、委託費、その他			
総係費				
	人件費、退職給付費（退職給付引当金繰入額）、退職給与金 貸倒引当金繰入額、修繕費、委託費、その他			
減価償却費				Case2は工事量が少ない ことによる差
	取得資産			
資産減耗費				
	固定資産除却費、たな卸資産減耗費			
営業外費用			削除	削除
支払利息及び企業債取扱諸費				Case2は工事量が少ないことによる差
	取得資産			
受託工事費				
雑支出				
特別収益				
	過年度損益修正損、賞与引当金繰入額、法定福利引当金繰入額			
損益			削除	削除

資本的収支

款 項	目	将来設定条件	Case1 R3~R40	Case2 R3~R40
資本的収入①				
企業債				工事量の差
既往債				
負担金				
施設分担金				
特設配水管負担金				
国庫補助金				工事量の差
資本的支出②				
改良費				
③ 原水及び浄水施設改良費			削除	削除
	人件費、委託費、工事請負費、その他			浄水場の規模 による差
配水施設改良費				
	人件費、委託費、工事請負費、その他			
固定資産購入費				
企業債償還元金				
既往債				
資本的収支不足額③=①-②				

上記の資本的収支不足額を、営業損益と内部留保資金にて補填していくこととなる。

第1回目の大規模更新費用に充当するため、R40年時点でCase1では（削除）円 Case2では（削除）円の内部留保資金残高を目標としている。

(R3~R40 38年間)	①	②	③	差額 (削除)円
ライフサイクルコスト（受水費+原水及び浄水費+原水及び浄水施設改良費）	Case1 (削除)円	Case2 (削除)円		

R40時点では、浄水施設の大規模更新の時期には達していない。

削除

大規模改修は概ね60年周期で発生するため、第2回目の大規模改修時には総費用は逆転する。

但し、維持管理すべき施設の規模と受水費によって、結果は変わってくる。